

# 基本理念と基本方針

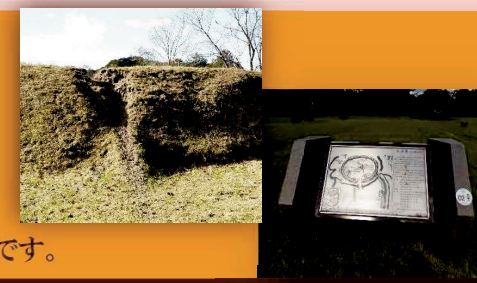
史跡白老仙台藩陣屋跡は、蝦夷地各地に造営された他の陣屋と比較して、内曲輪などの形状や主要な遺構がよく分かる状態で残されています。

本史跡が好ましい保存状態にあった背景には、史跡指定以前からの地域住民による自発的な保護活動の歩みや日常的な維持管理の取組みが、地域に世代を超えた文化財愛護の精神を根付かせてきたことにあります。

第1次環境整備事業から30年以上を経て、施設の老朽化や新たな課題が明らかになってきました。

●雨水による土砂の流出や獣害などの影響で、土塁の崩落箇所が散見されています。

●最新の研究成果などに則した解説内容や遺構名称への修正が必要です。



## 【現状変更の取り扱い】

文化財保護法により、史跡指定地で工事や工作物の設置等、現状を変更する場合は、文化庁長官の許可が必要です。事前に白老町教育委員会へご連絡ください。

## 保存管理

幕末蝦夷地の歴史を伝える  
白老元陣屋の本質的価値の  
確実な保存と維持管理

ガイダンス施設である仙台藩白老元陣屋資料館へ適切に人員を配置し、日常的な維持管理業務の中で本史跡の本質的価値を保存するとともに、定期点検を通して管理の質の向上に努めます。

- 遺構などの状況変化や災害などによる影響を的確に把握します。
- 来訪者の安全性が保たれるように問題箇所や危険箇所の早期発見と注意喚起に努めます。
- 現状変更等の行為への取扱方針を関係者間で共有し、連絡調整が行える体制を築きます。

## 活用

特色ある歴史と環境を最大限に  
活かして多様な来訪者に  
分かりやすく伝える活用

様々な事業の実施を通して、本史跡の本質的価値が後世へ引き継がれる環境づくりを推進します。また、各団体からの協力を得ながら、ウポポイの関連施設としての役割や、多文化共生社会の実現に向けた拠点的作用を果たせるように努めます。

- ガイダンス施設である仙台藩白老元陣屋資料館を中心とした調査研究と情報発信を行います。
- 郷土の文化財に関する学びや発信を通して、多文化共生社会の実現に資する拠点的作用の構築を目指します。
- 本史跡の恵まれたフィールドを最大限に活かせるイベントやレクリエーションを計画します。
- 体験や体感を伴った講座や散策会を定期的実施します。



## 整備

本質的価値の顕在化と歴史的  
意義が理解しやすい整備

確かな調査成果に基づき、本質的価値の更なる顕在化と本史跡の持つ歴史的意義を理解しやすい整備を行います。また、特色ある立地環境とも調和のとれた整備とすることを強く意識します。

- 本質的価値を表す諸要素それぞれの価値や性質を十分に踏まえて整備します。
- 本質的価値への悪影響が想定される樹木や本質的価値に関係のない工作物の撤去などを行います。
- ガイダンス機能や便益施設を再整備します。
- 景観への配慮や、維持管理の確実性及び容易さを考慮した整備を実施します。

## 運営体制

官民の密接な連携に基づく運営

指定管理団体である白老町を中核に、庁内所管課や地域住民などとの連携を強め、後世まで引き継がれる官民一体の運営体制を確立します。

- 保存・活用体制の充実を図ります。
- 文化庁や北海道教育委員会との連携を強化します。
- 各所管課による横断的な体制を構築します。
- 日常的な維持管理に、土地所有者や地域住民、ボランティアが積極的に参加できるような体制の確立と支援を行います。

